



Certification Exam Guide

SALESFORCE 認定テクニカルアーキテクト

Winter '17



目次

Salesforce 認定テクニカルアーキテクト資格について	1
セクション 1. この受験ガイドの目的	2
セクション 2. 対象者について: Salesforce 認定テクニカルアーキテクト	3
セクション 3. 試験について	5
セクション 4. 推奨トレーニングと参考資料	6
セクション 5. 試験範囲	7
セクション 6. サンプル問題	14
セクション 7. サンプル問題の回答	17
セクション 8. 認定資格の更新	18

SALESFORCE 認定テクニカルアーキテクト資格について

Salesforce 認定テクニカルアーキテクトプログラムは、顧客システムのアーキテクチャの評価、Force.com プラットフォームでの安全かつ高パフォーマンスなテクニカルソリューションの設計、技術的なソリューションと設計上のトレードオフをビジネス関係者に効果的に伝えるコミュニケーション力、品質を確保したデリバリアフレームワークの提供に必要な知識、スキル、能力があることを証明したい経験豊富なテクニカルアーキテクトを対象としています。

このプログラムを受験するには、前提条件として、Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーの資格を保有している必要があります。

Salesforce 認定テクニカルアーキテクトの認定プログラムは、(1) 自己評価テスト、(2) 選択式試験、(3) レビューボードでのプレゼンテーション の 3 ステップで構成されます。Salesforce 認定テクニカルアーキテクトの資格を取得するには、3 つのステップすべてに合格する必要があります。

1. **Salesforce 認定テクニカルアーキテクト自己評価テスト:** 資格取得のための最初のステップは、監督なしのオンラインアンケートに回答することです。この自己評価によって、受験者はプログラムを受験する前に自分のスキルを評価し、受験するために必要な基本レベルの知識と経験が備わっていることを確認できます。受験者は、資格プログラムのこのステップに合格しなければ、次のステップである選択式試験に進むことはできません。
2. **Salesforce 認定テクニカルアーキテクト選択式試験:** 資格獲得の 2 つ目のステップは、監督下で行われる選択式試験に合格することです。この試験の登録可能期間は、自己評価に合格してから 1 年以内です。この試験に合格しなければ、次のステップであるレビューボードに進むことはできません。
3. **Salesforce 認定テクニカルアーキテクトのレビューボードでのプレゼンテーション:** 資格取得の最終段階である 3 つ目のステップは、審査員チームの前で行うプレゼンテーションと面接に合格することです。これは年間を通じて決まった日時に実施されます。レビューボードでのプレゼンテーションの内容は次のとおりです。
 - 仮想シナリオ試験、プレゼンテーション、ディスカッション - レビューボード会場に到着した受験者は、監督官から仮想シナリオと試験の説明書を受け取ります。受験者は 2 時間 (120 分) の制限時間内に、仮想シナリオを読んで評価し、シナリオに対するアーキテクチャソリューションの詳細を設計してドキュメント化します。続いて、レビューボードの審査員にソリューションのプレゼンテーション (45 分) を行った後、質疑応答とディスカッション (40 分) を行います。

レビューボードの審査員は、Salesforce 認定テクニカルアーキテクトプログラムの最終ステップとして、仮想シナリオのプレゼンテーションおよびディスカッションを評価して採点します。

Salesforce 認定テクニカルアーキテクト資格は、プログラムの 3 つのステップすべてに合格した時点で認定されます。

セクション 1. この受験ガイドの目的

この受験ガイドは、Salesforce 認定テクニカルアーキテクト試験に合格する準備として必要なことを確認していただくために作成されています。このガイドでは、認定プログラム、推奨トレーニングおよび資料、試験の目的に関する詳細なリストなど、受験者が合格点に到達するために役立つ情報をご紹介します。Salesforce では、合格の可能性を高めていただくために、実務経験と自己学習を組み合わせることを強く推奨します。

セクション 2. 対象者について: SALESFORCE 認定テクニカルアーキテクト

Salesforce 認定テクニカルアーキテクトは、アーキテクチャ環境と要件を評価して、Force.com プラットフォーム上に安全で高パフォーマンスのテクニカルソリューションを設計することが求められます。アーキテクトには、技術的なソリューションと設計上のトレードオフについてビジネス関係者に伝え、エンドツーエンドのソリューションのためのデリバリフレームワークを提供した経験が必要です。対象となる受験者は、最新の Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーの資格を保有し、Force.com テクニカルアーキテクトとして専門知識を有していることの証明したい方です。

Salesforce 認定テクニカルアーキテクトに必要な経験およびスキルは次のとおりです。

- ソフトウェア開発のライフサイクル全体にわたり、開発を含めた実装経験が 5 年以上
- アーキテクトとしての経験が 3 年以上
- リードアーキテクトとして Force.com プラットフォームにおける Salesforce アプリケーションと技術の実装経験が 2 年以上
- テクニカルアーキテクトとして複数の複雑なリリースの経験、または同様のプロジェクトへの参加と経験によるテクニカルアーキテクトと同等の知識単独または複数のプロジェクトの経験
- プラットフォーム技術の適切な使用について開発チームを指導した経験
- アーキテクチャ全体の技術的リスクの特定と軽減
- アーキテクチャの選択肢や設計上のトレードオフについての理解と、設計の選択肢を伝える能力
- グローバル化を考慮したプロジェクトの経験
- Web 2.0 とクラウドアーキテクチャパラダイムについての知識
- さまざまなタイプの開発パターンや開発方法論に関する経験
- オブジェクト指向の設計パターンに関する経験
- プラットフォーム特有の設計パターンと制限の知識
- Force.com プラットフォーム上のコード開発経験
- プラットフォームの開発に関するリスク、考慮事項、制限を特定する能力
- 複数の開発言語 (.Net、Java、Ruby など) と設計フレームワークに関する経験
- 一般的な連携パターンに関する経験、Force.com プラットフォーム上の連携に関する経験
- 機能的セキュリティモデルの一部として、Force.com プラットフォーム上でセキュリティの複雑性、メカニズム、機能に対処するソリューション設計の知識と能力
- データ移行の考慮事項、設計上のトレードオフ、一般的な ETL ツールの知識
- 大容量データの考慮事項、リスク、リスク軽減戦略についての知識

- 一般的なモバイルソリューションとアーキテクチャの知識、プラットフォーム上のモバイルソリューションと考慮事項の理解
- Salesforce の一般的なサードパーティソリューションプロバイダの知識
- テスト計画の設計および効果の評価についての知識
- プロジェクトおよび開発ライフサイクル方法論に関する経験
- 技術者および技術者以外へのアーキテクチャソリューションのプレゼンテーションの経験
- リリースしたプロジェクトのポートフォリオと参考資料
- Salesforce プラットフォーム内で複雑な共有およびセキュリティを使用したデータモデルを明確にして設計する能力

セクション 3. 試験について

受験者は Salesforce 認定テクニカルアーキテクトの自己評価テストに合格すると、選択式試験の対象となります。選択式試験に合格すると、レビューボードにお申し込みいただけます。

Salesforce 認定テクニカルアーキテクト自己評価テストの詳細は次のとおりです。

- 内容: 多肢選択/複数選択、アンケート形式の 40 問
- 試験の所要時間: 30 分
- 前提条件: Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーの資格

Salesforce 認定テクニカルアーキテクト選択式試験の詳細は次のとおりです。

- 内容: 多肢選択/複数選択方式の 60 問
- 試験の所要時間: 120 分
- 合格点: 63%
- 受験料: 50,000 円（税抜）
- 受験方法: 試験会場で実施される監督付き試験。
- 参考資料: 試験中は、印刷物やオンライン資料は参照できません。
- 前提条件: Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーの資格を保有し、Salesforce 認定テクニカルアーキテクト自己評価テストに合格している必要があります。

Salesforce 認定テクニカルアーキテクトレビューボードでのプレゼンテーションの詳細は次のとおりです。

- 内容: 仮想シナリオの試験とプレゼンテーション、およびレビューボード審査員との面接形式による質疑応答セッション
- 試験の所要時間: 4 時間
- 参考資料: 試験中は、印刷物やオンライン資料は参照できません。
- 前提条件: Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーの資格を保有し、Salesforce テクニカルアーキテクト選択式試験に合格している必要があります。

セクション 4. 推奨トレーニングと参考資料

この試験の準備として、Salesforce University では、実践経験、トレーニングコースの修了、Trailhead トレイル、この受験ガイドの試験範囲セクションに示す分野の自己学習を組み合わせることを推奨します。

総合的なトレーニングのリストについては、ガイドを[こちら \(英語\)](#) からダウンロードしてください。

集合研修に申し込む、またはオンライントレーニングを開始するには、Salesforce アプリケーションの画面右上 (ログインが必要) の **[ヘルプ & トレーニング]** リンクをクリックして、必要なコースを検索してください。Salesforce を利用されていないお客様は、[こちら](#) から集合研修コースにお申し込みいただけます。

Salesforce University では、試験の準備として以下のトレーニングを推奨します。

- Force.com 基礎 (DEV401) のモジュール:
 - アプリケーションの設計
 - データの管理
 - Visualforce を使用したユーザインターフェースの拡張
- Force.com 開発者 (DEV450) のモジュール:
 - Apex
 - Visualforce コントローラ
 - 開発ライフサイクルの管理
- Force.com インテグレーション基礎 (DEV5021)
- Force.com インテグレーション開発者 (DEV5022)

オンラインのドキュメント、ヒント集、ユーザガイドを参照するには、受験ガイドの試験範囲セクションに示されているトピックを検索し、これらのトピックに関連する情報を学習することを推奨します。ドキュメント、ヒント集、ユーザガイドは、**[ヘルプ & トレーニング]** からアクセスできます。また、PDF 形式のドキュメントを[こちら](#)から入手できます。

Trailhead トレイルには[こちら](#)からアクセスできます。

セクション 5. 試験範囲

Salesforce 認定 テクニカルアーキテクト選択式試験では、以下の目的に関する受験者の知識とスキルを評価します。受験者は Force.com プラットフォームの Salesforce テクニカルアーキテクトとしての実践経験があり、以下に示す役割や職務の経験が必要です。

全般的なアーキテクチャの概念

- 与えられたシナリオに従って、外部アプリケーションからファイアウォールの内側にあるエンタープライズアプリケーションへのコールを必要とする環境で作業するときの考慮事項を説明する
- 与えられた複数のビジネス要件に従って、インターネット標準を考慮しながら Web テクノロジーを適用する方法を説明する
- 与えられたシナリオに従って、インターネットをトランスポート層として活用する連携インターフェースを設計する方法を説明する

プラットフォームアーキテクチャの概念

- 与えられたシナリオに従って、適切なプラットフォームと関連するアーキテクチャの考慮事項とトレードオフを判断する
- プラットフォームの制約を考慮した適用可能な設計上の考慮事項とトレードオフを説明する
- マルチテナントプラットフォームで作業するときの利点、考慮事項、制約を説明する
- 単一組織または複数組織にするかを計画して定義するときのアーキテクチャ上の考慮事項を説明する
- 大容量データを扱うときの設計上の考慮事項、影響、最適化の方法を説明する
- ネイティブアプリケーションとハイブリッドアプリケーションの違い、およびソリューションへの影響を説明する
- 与えられたシナリオに従って、適切なデータバックアップ戦略とビジネス継続計画を説明する
- 与えられたシナリオに従って、モバイル要件を組み込んだソリューションの設計方法を説明する

- プラットフォームのソーシャル機能の利点と、ソリューションに組み込む方法を説明する
- 与えられた複数の要件に従って、各ライセンスタイプの機能と制約を説明し、ベストプラクティスを考慮したソリューションを設計する
- 与えられた複数のビジネス要件に従って、適切なドキュメント管理ソリューションを決定する
- プラットフォームの国際化対応機能の機能と制限事項を説明する

セキュリティ

- 与えられたシナリオに従って、データセキュリティ要件を満たすためにプラットフォームのセキュリティ機能をソリューションに組み込む方法を説明する
- 与えられた複数の要件に従って、ソリューション内で適用するのに適切なアイデンティティ管理メカニズムを説明する
- Web アプリケーションセキュリティ戦略および一般的なリスク軽減戦略の概念について説明する
- インターネットセキュリティがソリューションアーキテクチャに与える影響について説明する
- 与えられたシナリオに従って、ビジネス要件を適切なセキュリティメカニズムにマッピングする方法を説明する
- プラットフォームのコンプライアンス認定について、および認定が顧客に対してどのように関係するかを説明する

アプリケーション設計パターン

- 与えられた複数のビジネス要件に従って、ソリューション内での宣言的開発およびプログラミング的開発の適切な組み合わせについて説明する
- 与えられたシナリオに従って、ソリューション内で使用される、宣言的開発およびプログラミング的開発の組み合わせの妥当性を確認するときのビジネスと技術のトレードオフを説明する

- 与えられたシナリオに従って、データベースの設計およびモデリングのベストプラクティスと影響を説明する
- 与えられたシナリオに従って、使いやすさとパフォーマンスを考慮して設計する場合の適切な方法を決定する
- 最適なパフォーマンス、拡張性、保守性、再利用を考慮したソリューションを設計する方法を説明する
- ソリューションに適切なアーキテクチャを決定するときに考慮したオブジェクト指向の設計方法論と設計パターンを説明する
- 与えられたシナリオに従って、MVC 設計パターンを使用した実際の影響を説明する
- 与えられた複数のビジネス要件に従って、適切なコントローラ設計を決定する
- 与えられたシナリオに従って、カスタム設定、非同期 Apex、バッチ Apex など、適切な Apex 機能を適用する状況を説明する
- プラットフォーム内でのトランザクションの実行順序が及ぼす影響を説明する

連携パターンとベストプラクティス

- 与えられたシナリオに従って、利用可能なプラットフォーム連携機能と実装の考慮事項について説明する
- 顧客の連携環境を評価し、一般的な連携パターンに基づいて適切な戦略と技術コンポーネントを推奨する
- 与えられたシナリオに従って、Force.com API と言語ツールキットの機能と制限事項を説明し、適切な取り組み方法を決定する

開発ライフサイクルとリリース計画

- 完全なテスト駆動型の開発ライフサイクル全体にわたるトレーサビリティ要件のマッピング方法を説明する
- 環境管理のためのプラットフォームのツール、使用事例、制限、ベストプラクティスを説明する
- 包括的なテスト計画を設計するときのテスト戦略と考慮事項を説明する

- 効果的なリリース戦略のコンポーネントを説明する
- 与えられたシナリオに従って、データ移行の戦略、考慮事項、使用に適切なツールを決定する
- 設定変更管理やガバナンス委員会などのガバナンスモデルのコアコンポーネントを説明する
- ソース管理に利用できるオプションと、リリース管理の一般的なツールについて説明する
- さまざまな開発方法の利点とリスクを説明し、顧客の環境に基づいて適切な方法を推奨する

コミュニケーション

- ビジネス要件と戦略を明らかにするためにアーキテクチャ評価を効果的に実行する方法を説明する
- ソリューションアーキテクチャの利点、制限、考慮事項、設計の選択肢を明確にして、設計に関連する反対意見に対処する
- 広範にわたる複数の関係者の間にアーキテクチャ設計を広める能力があることを示す
- ソリューションアーキテクチャを明確にするために視覚化ツールやドキュメント化ツールを利用する方法を示す
- 予期しない障壁に対処し、適切な次のステップを決定する能力があることを示す
- 経験とメンターシップを通じて知識や学習内容を共有する能力があることを示す

システムアーキテクチャ

- 与えられたシナリオに従って、システムの適切な組み合わせ (プラットフォーム上およびプラットフォーム外のコンポーネントを含む) を、Salesforce プラットフォームの機能、制約、制限を考慮して決定する
- 与えられたシナリオに従って、レポートおよび分析に関する設計とプラットフォームの考慮事項、トレードオフ、リスクを説明する

- 与えられたシナリオに従って、単一組織または複数組織の環境で計画、定義、作業を行うときの、アーキテクチャに関する考慮事項を説明する
- 与えられたシナリオに従って、モバイルソリューションに関する設計上の考慮事項、トレードオフ、リスクについて説明し、適切なモバイルプラットフォームを推奨する
- 与えられた複数の要件に従って、必要なライセンスタイプの正しい組み合わせを、機能、トレードオフ、制約を考慮して推奨する
- 与えられた複数の要件に従って、適切なドキュメント管理ソリューションを決定するための機能、トレードオフ、制約について説明する

セキュリティ

- 与えられた複数の要件に従って、適切なプラットフォームのセキュリティメカニズムを利用するソリューションを設計する
- 与えられたシナリオに従って、セキュリティに関する考慮事項とリスクを特定し、適切なセキュリティ機能を利用して内部ユーザと外部ユーザの両方がアクセスする安全なポータルアーキテクチャを設計する
- 与えられたシナリオに従って、レコードレベルのセキュリティ要件を満たすためにプラットフォームで使用可能な宣言的セキュリティ機能を特定する
- 与えられたシナリオに従って、セキュリティ要件を満たすためにプラットフォームで使用可能なプログラミング的セキュリティ機能を特定する
- 与えられたシナリオに従って、プラットフォームのセキュリティ機能をソリューションに組み込み、適切なオブジェクトおよび項目へのアクセス権限をユーザに付与する方法を説明する
- 与えられた複数の要件に従って、エンドツーエンドのアイデンティティ管理ソリューションを設計し、妥当性の根拠を示す

データ

- 与えられたシナリオに従って、大量のデータを操作するときの、プラットフォームアーキテクチャの考慮事項、プラットフォームへの影響、最適化方法を説明する

- 与えられたシナリオに従って、データモデリングの概念とデータベース設計およびモデリングの影響を説明する
- 与えられたシナリオに従って、データ移行の戦略、考慮事項、使用に適切なツールを決定する

ソリューションアーキテクチャ

- 与えられた複数のビジネス要件に従って、ソリューション内での宣言的開発およびプログラミングの開発の適切な組み合わせについて説明する
- 与えられたシナリオに従って、外部アプリケーションをアプリケーションアーキテクチャに組み込む利点、考慮事項、トレードオフについて説明する

連携

- 与えられた複数の要件に従って、適切なエンタープライズ連携の概観を推奨し、顧客環境内の関連リスク、トレードオフ、ビジネスと技術面の考慮事項を説明する
- 与えられたシナリオに従って、適切な技術の機能を説明し、連携アーキテクチャの一部として使用することの妥当性の根拠を示す
- 与えられたシナリオに従って、適切な連携戦略と一般的な連携パターンの使用を推奨し、これらの妥当性の根拠を示す
- 与えられたシナリオに従って、外部システムとの連携に使用する適切なプラットフォーム固有の連携技術を推奨し、これらの妥当性の根拠を示して、機能、制限、トレードオフについて説明する

開発ライフサイクルとリリース計画

- 与えられたシナリオに従って、プロジェクトに関するリスクと軽減戦略を特定する
- 与えられた顧客のプロジェクト環境および開発手法に従って、技術的な考慮事項、リスク、技術的なワークストリームへの影響を特定する
- 与えられたシナリオに従って、適切な包括的テスト戦略を推奨し、テストによってプロジェクトのリスクを軽減する方法について議論する

- 与えられたシナリオに従って、技術的なソリューションに関連する考慮事項、関係者、意思決定の影響を顧客のプロジェクトガバナンスに照らして説明する
- 与えられたシナリオに従って、環境管理のためのプラットフォームのツール、使用事例、制限、ベストプラクティスを説明する
- ソース管理とリリース管理の継続的な連携を使用する場合の、一般的なツール、利点、根拠を説明する

コミュニケーション

- ソリューションアーキテクチャの利点、制限、考慮事項、設計の選択肢を明確にして、設計に関連する反対意見に対処する
- 技術的なソリューションを明確にするために視覚化ツールやドキュメント化ツールを利用する方法を示す
- 予期しない障壁に対処し、適切な次のステップを決定する能力があることを示す

セクション 6. サンプル問題

以下の質問は、Salesforce 認定テクニカルアーキテクト選択式試験のサンプル問題です。問題はあくまで出題形式に慣れていただくためのものであり、試験に合格するかどうかを判断するための問題ではありません。実際の問題の難易度は、以下のサンプル問題とは異なる場合があります。

1. ユニバーサルコンテナ社には 5 つの事業部門にわたる 5,000 人の従業員がいます。各事業部門は、異なる業種別区分に対処する独自のビジネスプロセスを用いて個別に業務を行っています。各事業部門のデータはその部門内のユーザにアクセスが限定されていますが、事業部門を横断してデータにアクセスする必要があるスペシャリストリソースのグループがあります。

ユニバーサルコンテナ社は Salesforce を実装して、全部門で年間レコード 200 万件のケース量を想定しています。将来的なデータモデルには 200 以上のカスタムオブジェクトが含まれる予定です。シニアマネージャは部門を超えて統合されたレポートを要求しています。

これらの要件に基づき、ユニバーサルコンテナ社のプロジェクトチームでは、各部門のシステム管理者に代理管理を割り当てる単一組織戦略を実装する予定です。

プロジェクトチームと取り組み方法を確認するときにアーキテクトが考慮すべき影響は次のうちどれですか？

答えを 2 つ選んでください。

- A. 部門内および部門間でデータアクセスを可能にするためにロール、グループ、共有ルール of 複雑な構造が必要になる
 - B. 各部門のすべてのビジネスプロセスを、部門間で共通する 1 つのビジネスプロセスに標準化する必要がある
 - C. レポートのパフォーマンスを向上させるために、主要なオブジェクトについて大容量データの最適化を実装する必要がある
 - D. ガバナンスと変更管理のプロセスを各部門に対して別個に適用する必要がある
2. ユニバーサルコンテナ社はカスタムセキュリティトークンを使用して、社内でホスティングされているアプリケーションに従業員がアクセスできるようにしています。同社は Salesforce との連携を望んでいますが、既存のセキュリティメカニズムの変更は望んでいません。

どのオプションを考慮する必要がありますか？

答えを 2 つ選んでください。

- A. OAuth 2.0 の API とプロトコルを使用してトークンを解読して変換し、Salesforce のユーザ ID を確立する
 - B. AppExchange のツールを使用して、カスタムトークンを Salesforce の認証フレームワークで理解されるトークンに変換する
 - C. 代理認証を使用してログイン要求を処理し、カスタムセキュリティトークンを検証する
 - D. カスタムの Apex セキュリティサービスを使用してトークンを解読し、Salesforce のユーザレコードに保管されている情報と比較して認証する
3. ユニバーサルコンテナ社では Salesforce で受注管理システム (OMS) を構築し、複数のデータ参照関係を必要とする受注入力データモデルを設計することになっています。同社は第 3 正規形 (3NF) データモデルを使用することにしました。

この設計に関連してアーキテクトがユニバーサルコンテナ社に伝えなければならないパフォーマンス上の影響は次のどれですか？

答えを 1 つ選んでください。

- A. 新しい注文を追加するときのパフォーマンス
 - B. 既存の注文を更新するときのパフォーマンス
 - C. 注文を検索するときのクエリのパフォーマンス
 - D. 受注レポートを実行するときのクエリのパフォーマンス
4. ユニバーサルコンテナ社では現在オンプレミスの顧客報酬システムを利用しており、商談成立時に Salesforce 内の複数のオブジェクトからの情報でシステムを更新しようと考えています。この顧客報酬システムでは、必要なデータを取得するための一連の Web サービスが提供されます。

この要件を満たす連携方法は次のどれですか？

答えを 2 つ選んでください。

- A. 商談に対してワークフロールールを作成して、顧客報酬 Web サービスにアウトバウンドメッセージを送信する
- B. 商談に対して Apex トリガを作成し、顧客報酬 Web サービスを同期で起動する

- C. 商談に対して Apex トリガを作成し、顧客報酬 Web サービスを非同期で起動する
- D. 未処理の商談に対してバッチ Apex プロセスのスケジュールを作成し、顧客報酬 Web サービスを起動する

5. ユニバーサルコンテナ社では、取引先データと取引先責任者データを従来のシステムから Salesforce に移行する計画を立てています。計画では、取引先と取引先責任者の間に存在する関係を維持した形でデータを移行します。移行する取引先レコードは約 200 万件、取引先責任者レコードは 1500 ～ 2000 万件です。このデータ移行にアーキテクトが推奨するべき方法はどれですか？

答えを 1 つ選んでください。

- A. すべてのレコードを Salesforce に読み込み、Apex トリガを作成して取引先と取引先責任者の関係を構築する
- B. 取引先データを読み込み、Apex SOA のコールアウトを使用して、関連する取引先責任者レコードを従来のシステムからオンデマンドで取得する
- C. すべてのレコードを Salesforce に読み込み、バッチ Apex を使用して取引先と取引先責任者の関係を構築する
- D. 取引先データと取引先責任者データを読み込み、従来の ID を外部 ID として使用して取引先と取引先責任者の関係を構築する

セクション 7. サンプル問題の回答

1. A、C
2. B、C
3. D
4. A、C
5. D

セクション 8. 認定資格の更新

Salesforce の資格を保有する利点の 1 つに、新製品のリリースについて常に最新の情報を入手できることが挙げられます。リリース試験は、優秀な Salesforce 認定エキスパートであるために必要とされる最新の情報を受験者が有することを確認する目的で実施されます。

この Salesforce 認定テクニカルアーキテクト資格を維持するには、オンラインで提供される Salesforce 認定デベロッパーまたは Salesforce 認定 Platform アプリケーションビルダーのリリース試験に合格する必要があります。

リリース試験は年 3 回公開されます。

SALESFORCE UNIVERSITY について

Salesforce University は、お客様の組織の Salesforce 環境の管理、開発、利用に役立つコースおよび認定制度の総合的なカタログをご用意しています。チーム全体向けにカスタマイズされたプライベートコースを必要とされる場合も、徹底的な集合研修に個人での参加を要望される場合も、Salesforce University が、成功のためのジャーニーの次のステップに導きます。

Salesforce への投資効果を最大限まで高められるようお手伝いいたします。いますぐお問い合わせください。

SALESFORCE UNIVERSITY コースにオンラインでご登録いただくか、エキスパートにご相談ください。



アメリカ:
www.salesforce.com/training
電話: 1-877-TRAIN10
Email: educationcoordinator@salesforce.com

アジア太平洋:
www.salesforce.com/au/training
電話: 1-800-789-984
Email: anactraining@salesforce.com

EMEA:
www.salesforce.com/eu/training
Email: trainingEMEA@salesforce.com

 /SalesforceUniversity
 @SalesforceU